

第4節

メディアとのかかわり

テレビ・ビデオ・DVDの合計視聴時間は、この10年間を比較すると減少している。とくに1歳児での減少が大きい。テレビ・ビデオ・DVDを誰と一緒に見るかについては、「母親」と一緒に見る比率が増加し、「きょうだい」で一緒に見る比率が減少している。テレビ・ビデオ・DVDの視聴の様子では、親子で一緒に楽しんでいる姿がうかがえる。

●メディアの平均視聴時間

ここでは、幼児とテレビ・ビデオ・DVDとのかかわりについてみてみたい。

図1-4-1は、テレビ・ビデオ・DVDを視聴する時間の合計である。合計視聴時間は、この10年間を比較すると減少している（テレビ視聴12分、ビデオ視聴22分）。しかし、今回から新たに質問項目を設けたDVD視聴に27分を費やしており、総合するとわずかな減少である。

テレビ・ビデオ・DVDを視聴する平均時間を年齢別にみたものが図1-4-2である。4歳児を除く各年齢で、00年よりも減少している（1歳児25分、2歳児17分、3歳児20分、4歳児のみプラス12分、5歳児10分、6歳児15分）。とくに1歳児での減少が大きい。

●いつからテレビを見始めるか

テレビへの関心の程度について、1歳児と2歳児の結果を経年で示したのが図1-4-3である。年齢別にみると、95年、00年と異なり、05年では、1歳児のテレビに対する興味関心が下がっている。「見たいテレビ番組がほしい決まっている」では、00年では51.0%、05年では39.8%で、11.2ポイントの減少である。一方で「テレビの画面にも関心を持ち始めている」のは、00年が16.7%、05年で25.9%で、9.2ポイント増加した。1～2歳児では、1日のテレビ視聴時間も過去調査と比較して減少しており、00年に比べて、テレビと距離を置いている様子が見える。

図1-4-4は、05年のみの年齢別グラフである（05年のみの場合は、0歳児も含まれ

■図1-4-1 メディアの平均視聴時間（10年比較）

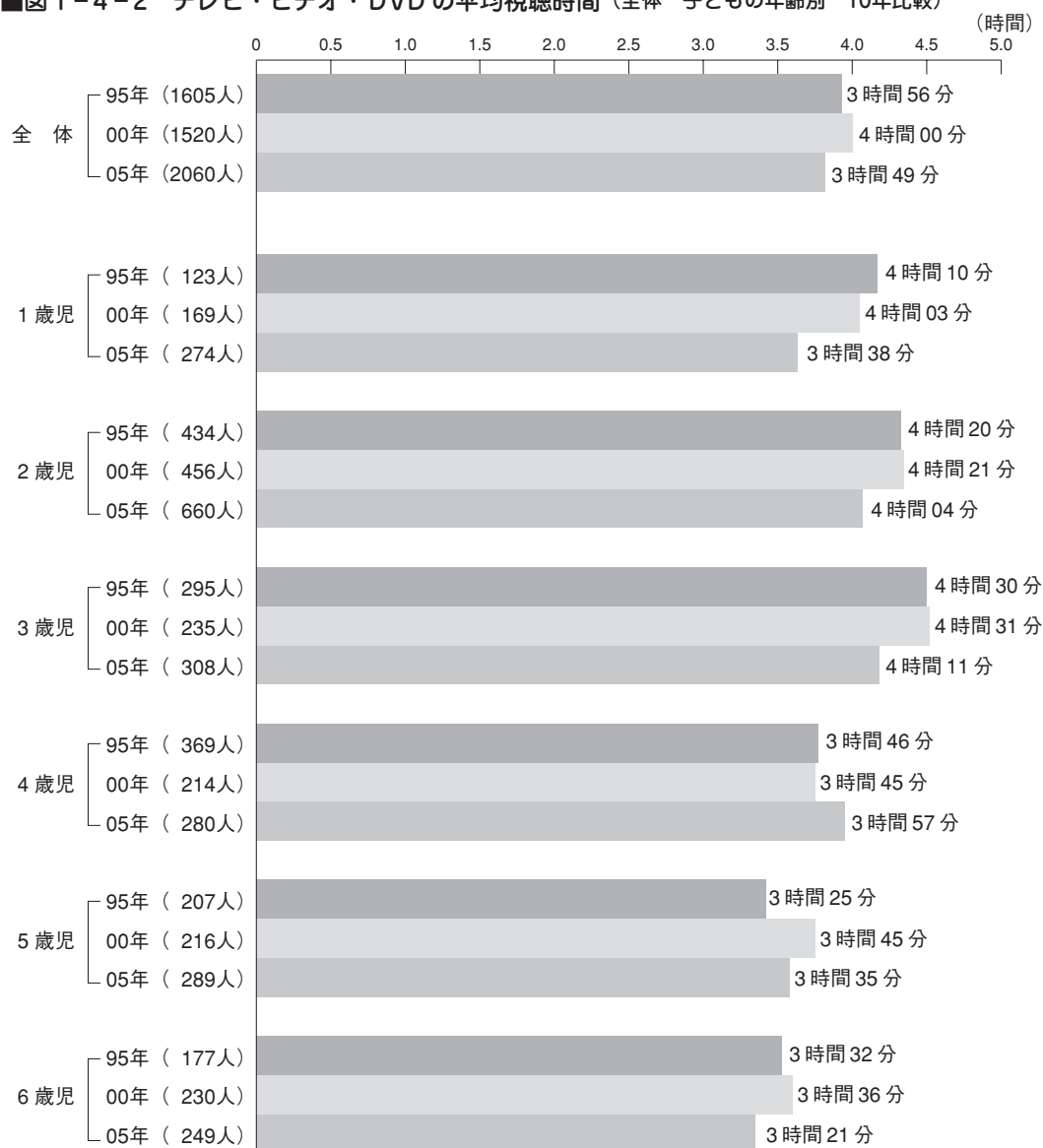


注) 「テレビ」「ビデオ」「DVD」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに」「ぜんぜんさわらない・使わない」「使わない・見せない」「家にない」と回答した場合は、「0時間」として平均視聴時間を算出した。また、無答不明の人は分析から除外している。

ている)。0歳児の場合、74.1%が「テレビの画面にも関心をもちはじめている」。また、1歳児の30.8%が「見たいテレビ番組がだいたい決まっている」と回答しており、すでに3人に1人はテレビ番組に対する好き嫌いが現

れているようである。2歳児になると、「見たいテレビ番組がだいたい決まっている」のは60.2%になり、お気に入りのテレビ番組を選んで視聴するスタイルが、2歳児の生活に浸透している様子が見えてくる。

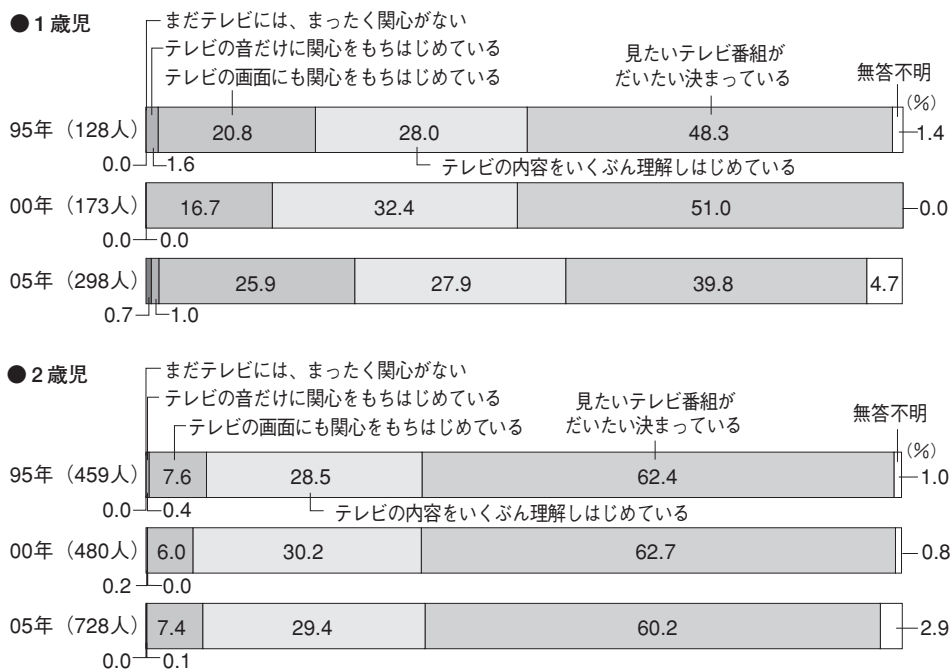
■図1-4-2 テレビ・ビデオ・DVDの平均視聴時間（全体 子どもの年齢別 10年比較）



注1) テレビ視聴時間、ビデオ視聴時間の合計（05年はDVD視聴時間を含む）。

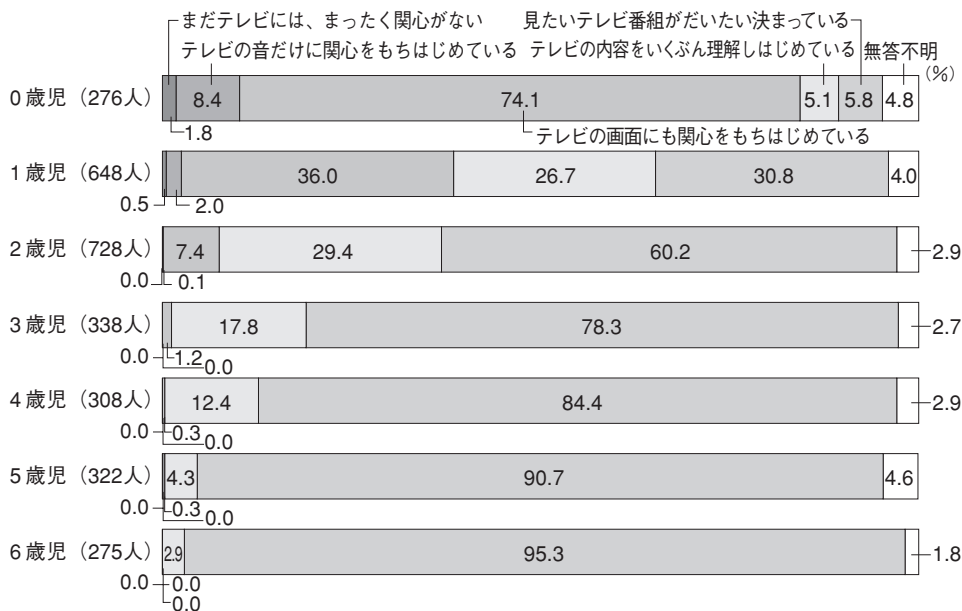
注2) 「テレビ」「ビデオ」「DVD」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに」「ぜんぜんさわらない・使わない」「使わない・見せない」「家にな」と回答した場合は、「0時間」として平均視聴時間を算出した。また、無答不明の人は分析から除外している。

■図1-4-3 テレビへの関心度（子どもの年齢別 10年比較）



注) テレビを「ほとんど毎日」「週に3~4日」「週に1~2日」「ごくたまに」見ている人のみ分析。

■図1-4-4 テレビへの関心度（子どもの年齢別 05年）



注1) 0歳6か月~1歳5か月の乳幼児をもつ保護者の回答を含む。

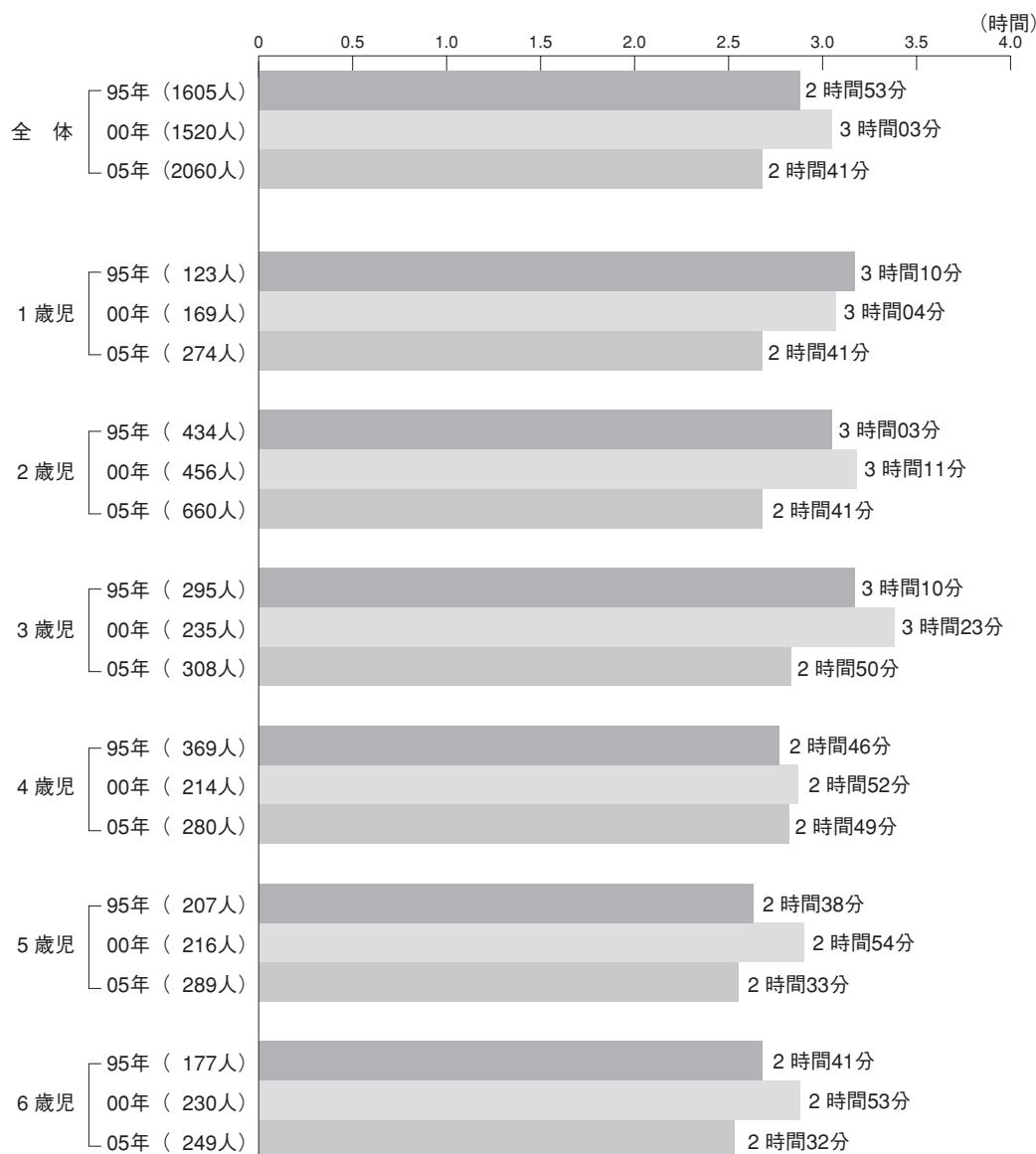
注2) テレビを「ほとんど毎日」「週に3~4日」「週に1~2日」「ごくたまに」見ている人のみ分析。

● 幼児とテレビ視聴

ここからは、幼児とテレビ視聴についてみてみよう。図1-4-5は、テレビの平均視聴時間についてである。全体では、10年間で12分の減少となっている（95年：2時間53分、00年：3時間03分、05年：2時間41分）。

年齢別でみると、低年齢児の平均視聴時間の減少が目立つ。95年・00年は1～3歳児のほうで、4歳児以上よりも長い傾向にあったが、05年の傾向としては、3～4歳児が長くなり、1～2歳児はやや短くなっている。

■図1-4-5 テレビの平均視聴時間（全体 子どもの年齢別 10年比較）



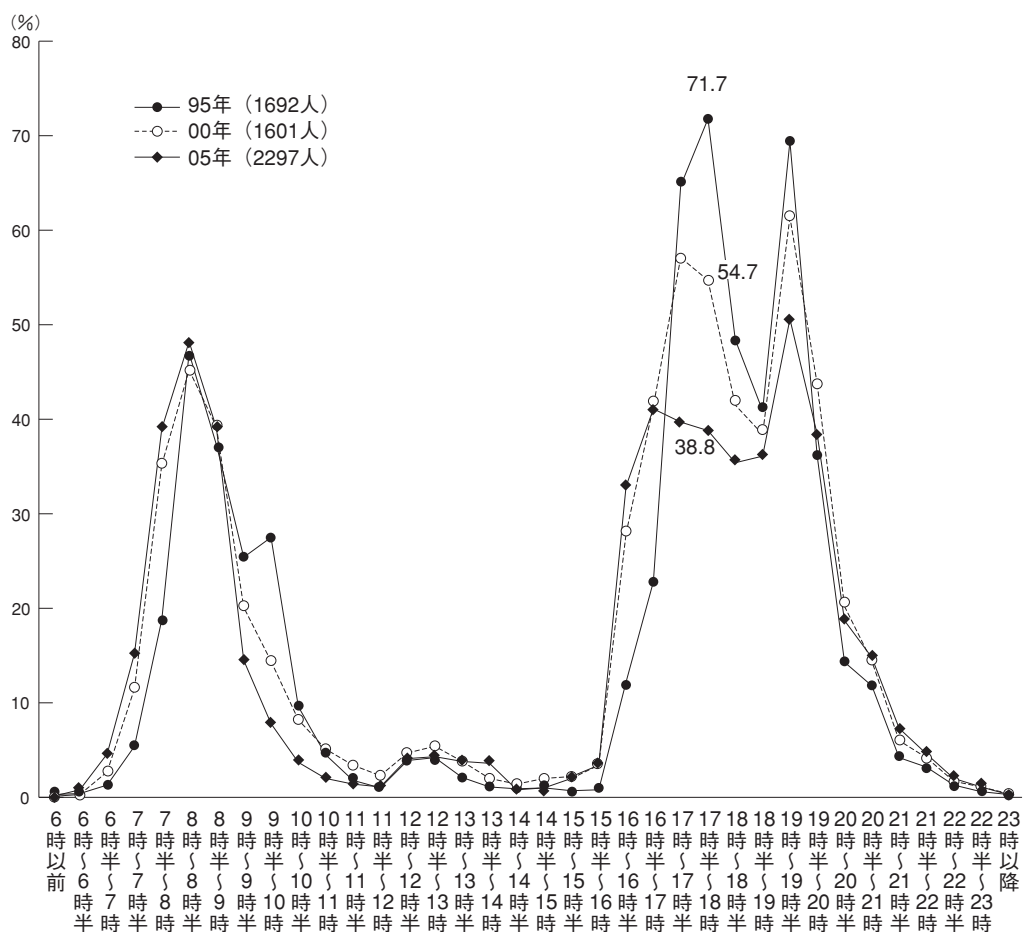
注) 「テレビ」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに」「ぜんぜんさわらない・使わない」「使わせない・見せない」「家がない」と回答した場合は、「0時間」として平均視聴時間を算出した。また、無答不明の人は分析から除外している。

● 1日のなかで、いつテレビを 見ているか

図1-4-6は、テレビ視聴の時間帯である。朝と夕方～夜に2つの山がある。朝は、視聴のピークが「8時～8時半」にあり、10年前とほぼ変わらない。夕方から夜にかけて

は、95年・00年・05年と徐々に視聴率のピークが下がっている。「17時半～18時」の時間帯では、95年71.7%→00年54.7%→05年38.8%と10年間で32.9ポイントの減少である。視聴時間帯ごとの視聴率については、調査時の子ども向け番組の編成（種類や量）の影響も大きいと考えられる。

■図1-4-6 テレビ視聴時間帯（10年比較）



注) 複数回答、36項目の中から選択。

● 1日のテレビの視聴時間

図1-4-7には、1歳児と6歳児のテレビ視聴を示したが、これ以外の年齢でも、00年よりも05年のほうが、短時間の視聴が多くなっている。全体的な傾向として、テレビの視聴時間は「30分未満」から「6時間以上」まで、幅広く分布しており、ばらつきがみられる。とくに低年齢（1～2歳児）ほどばらつきに幅があり、年齢が上がるほど視聴時間が短い時間に集中する。2歳児までは、テレビを視聴する時間は各家庭によってかなり差があると思われる（2歳児の図省略）。

に短時間視聴が増加しており、05年では、「3時間以下」の視聴が全体の7割強を占める。しかし1日「6時間以上」テレビ視聴をしている1歳児が8.1%いることも見逃せない。ただし、この長時間視聴比率も10年前と比べると、わずかずつだが減少している。

6歳児の場合、「3時間以下」の視聴が約8割強を占め、「1時間」「2時間」「3時間」でそれぞれ23～25%を占めている。「6時間以上」の視聴は他の年齢に比べて若干少ない。

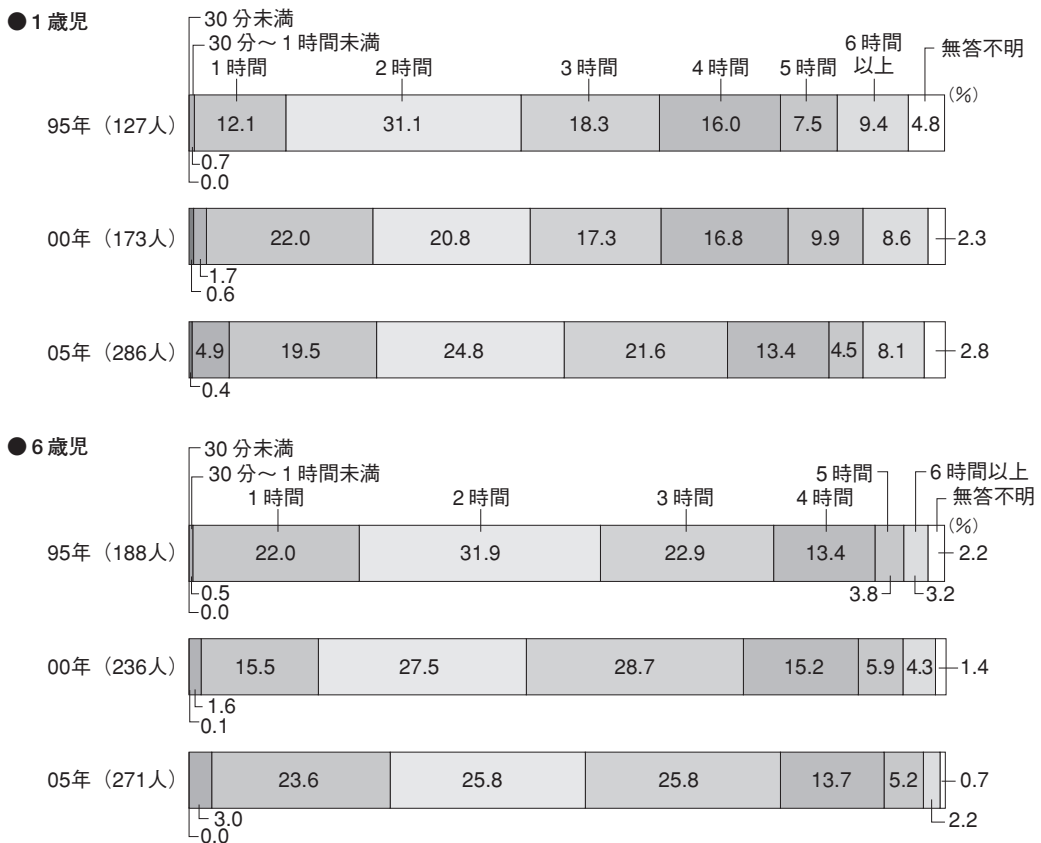
● 視聴時間が短くなっている

1歳児の場合は、95年・00年・05年と徐々に

● 誰と一緒にテレビを見ているか

図1-4-8は、テレビを誰と一緒に見ているかを年齢別にみたものである。全体の傾向として、95年・00年・05年で徐々に「母親」と一緒に見る割合が増加しており、「きょう

■図1-4-7 テレビ視聴時間（子どもの年齢別 10年比較）



注) テレビを「ほとんど毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」「ごくたまに」見ている人のみ分析。

だい」で一緒に見る割合が減少している。過去に比べて、一人っ子の割合が増加していることも関連していると思われる（一人っ子の割合：95年19.0%、00年25.3%、05年37.0%）。「お子様1人で」見る割合は、1歳児で減っているが、他の年齢では大きな差はみられない。

年齢別に詳しくみると、それぞれ1～2歳児と、3～4歳児、5～6歳児で似た傾向がみられる。

1～2歳児では、「母親」と一緒に見る割合が増加し、「きょうだい」と一緒に見る割合が減少した。05年では「母親」と一緒に見るのは1歳児（80.5%）のほうが2歳児（73.9%）よりも6.6ポイント多い。

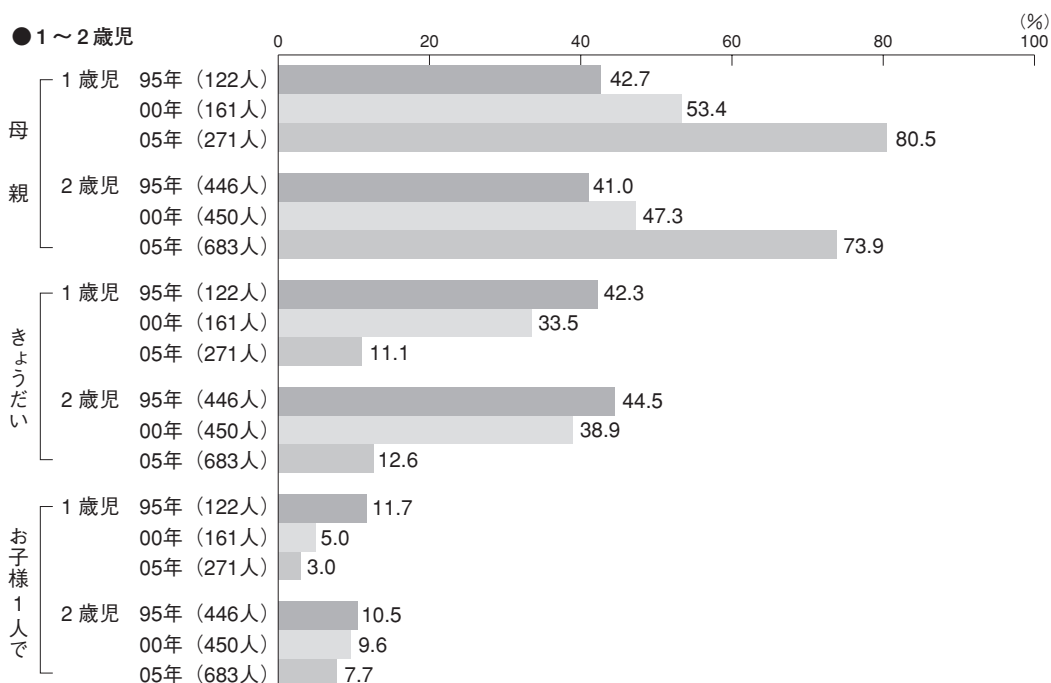
3～4歳児でも、1～2歳児と同傾向は同様である。3歳児では95年に「きょうだい」と

一緒に見る割合は52.6%、00年43.3%、05年24.2%となり、10年間で28.4ポイント減少した。逆に、「母親」と一緒に見る割合は10年間で30.7ポイント増加している（95年32.4%、00年44.8%、05年63.1%）。「お子様1人で」見る割合は、10年前と比べて4.1ポイントの減少である。

5～6歳児の場合も、傾向は1～4歳児と同様であるが、「お子様1人で」見る割合は、10年前からあまり変化していない。

「母親」「きょうだい」以外でおもに一緒にテレビを見る人は、ほとんどいない。1歳児で、わずかに「父親」がみられる（05年1歳児2.6%、2歳児2.6%、3歳児2.8%、4歳児2.7%、5歳児1.0%、6歳児1.1%）程度である（図省略）。

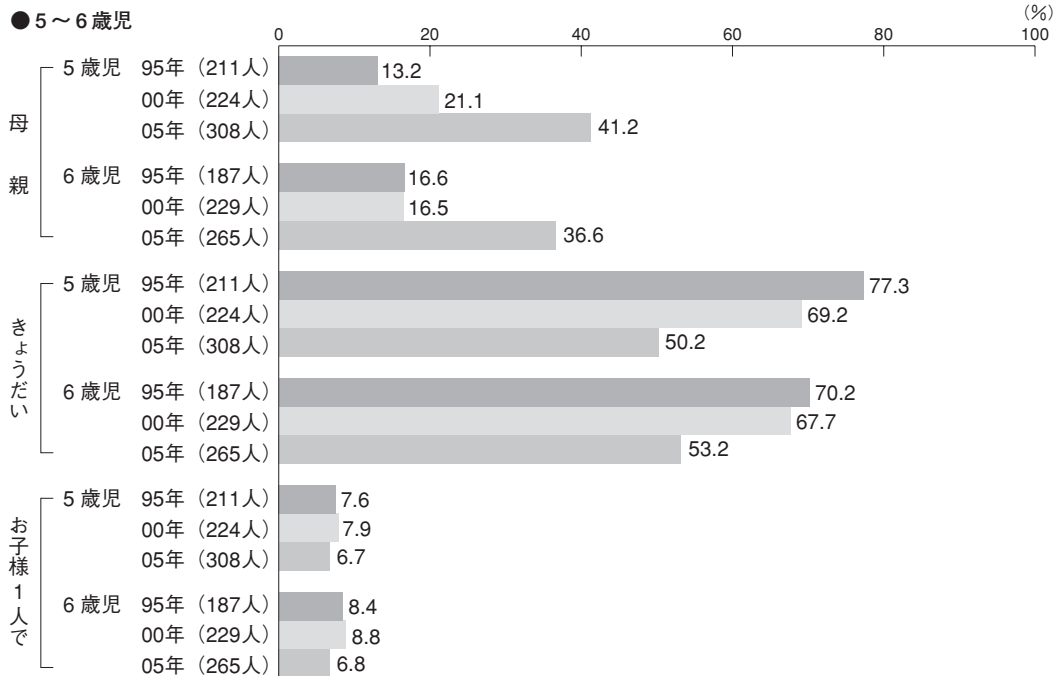
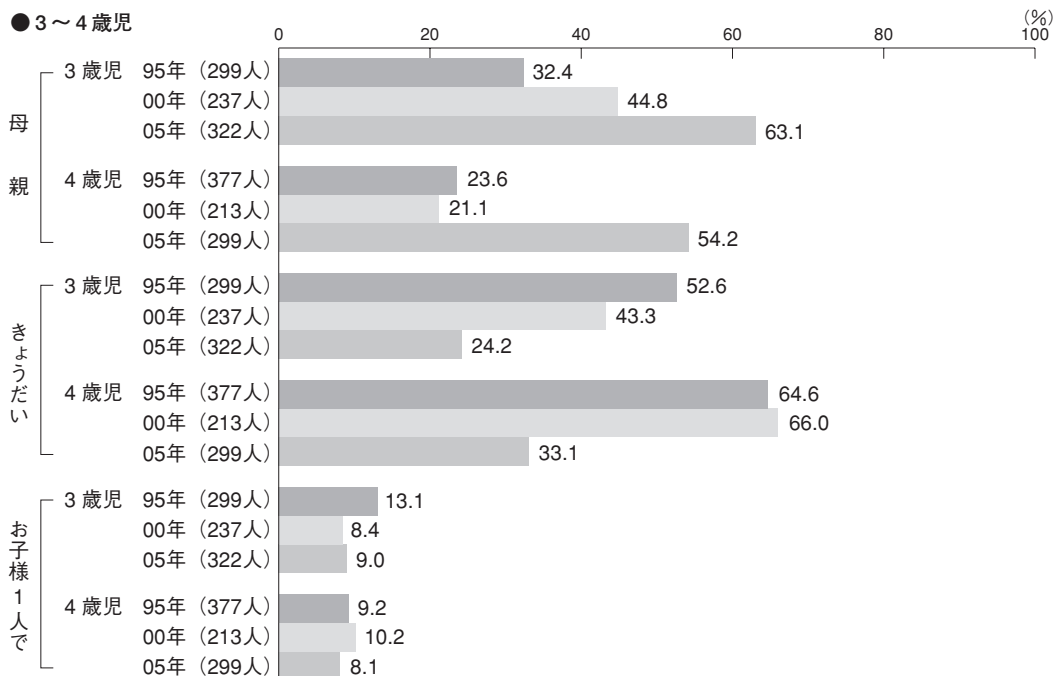
■図1-4-8 テレビを誰と見るか（子どもの年齢別 10年比較）



注1) 「家がない（使わない・使わせないを含む）」および無答不明を除いて算出した。

注2) 「母親」「父親」「祖母」「祖父」「きょうだい」「友だち」「お子様1人で」「その他」「家がない（使わない・使わせないを含む）」から1つ選択で、「母親」「きょうだい」「お子様1人で」を選択した%。

■図1-4-8 テレビを誰と見るか（子どもの年齢別 10年比較）〔続き〕



注1) 「家がない(使わない・使わせないを含む)」および無答不明を除いて算出した。

注2) 「母親」「父親」「祖母」「祖父」「きょうだい」「友だち」「お子様1人で」「その他」「家がない(使わない・使わせないを含む)」から1つ選択で、「母親」「きょうだい」「お子様1人で」を選択した%。

● テレビ・ビデオ・DVD視聴の様子

テレビ・ビデオ・DVDを見ているときのコミュニケーションの様子についてたずねたのが図1-4-9である。

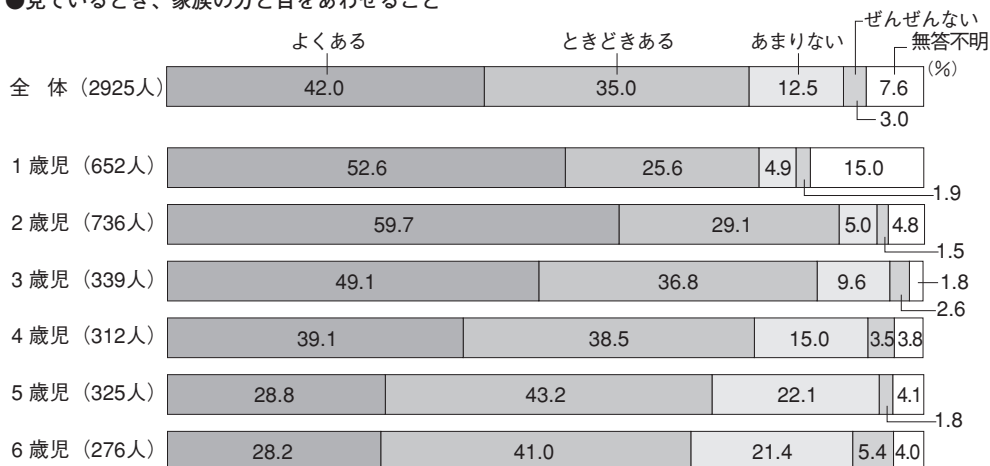
全体では、「見ているとき、家族と一緒に歌ったり踊ったりすること」78.5%（「よくある」＋「ときどきある」割合、以下同様）、「見終わった後、家族と内容について、話を

すること」65.0%など、多くの家庭で親子が一緒に楽しんでいる様子がうかがえる。

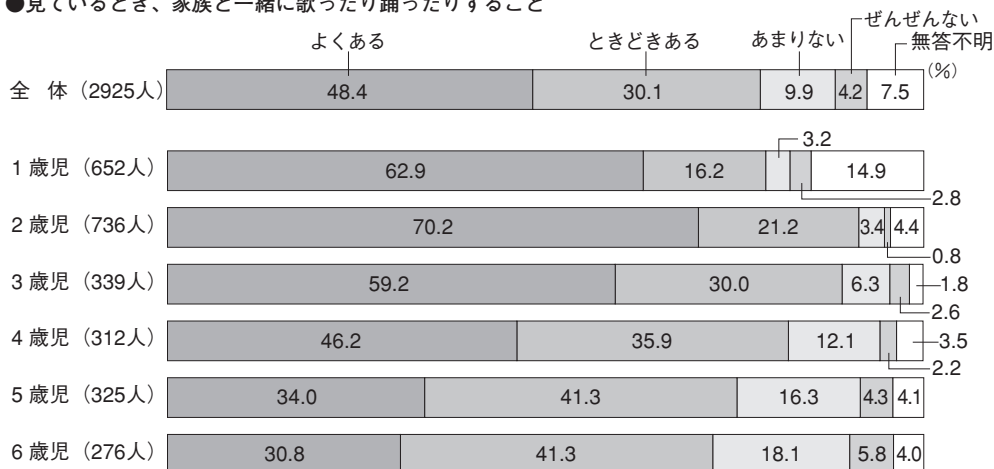
年齢別にみると、テレビ・ビデオ・DVDを「見ているとき、家族の方と目をあわせること」については、2歳児が最も多く88.8%、6歳児では69.2%である。アイコンタクトは、低年齢児にとって家族との主要なコミュニケーション手段の1つであり、多くの子どもが家族とアイコンタクトを取りながらテレビ・

■図1-4-9 テレビ・ビデオ・DVD視聴の様子（全体 子どもの年齢別 05年）

●見ているとき、家族の方と目をあわせること



●見ているとき、家族と一緒に歌ったり踊ったりすること



注1) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ保護者の回答を含む。

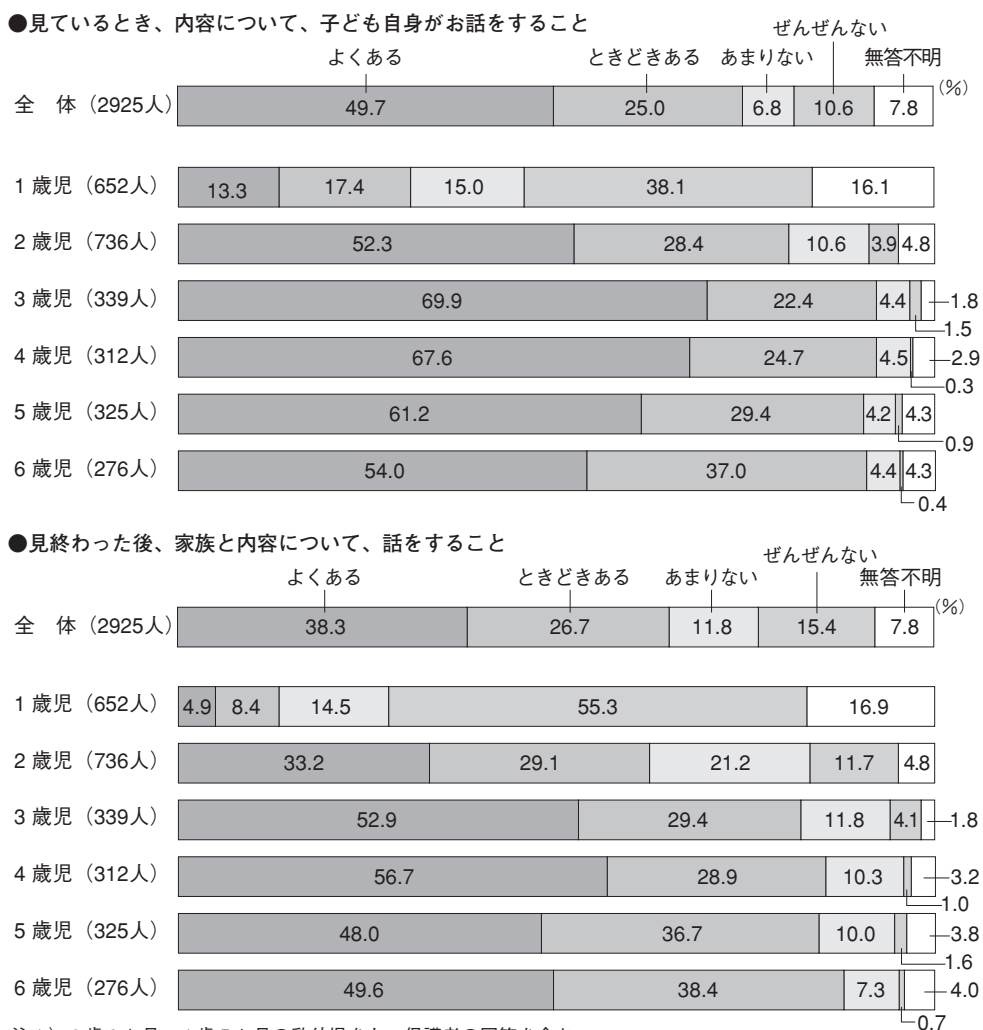
注2) 「テレビ」「ビデオ」「DVD」をいずれか1つでも「ほとんど毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」「ごくたまに」見ている人のみ分析。

注3) 年齢によって回答しづらい内容であるため、「無答不明」が多い年齢がある。

ビデオ・DVD視聴をしているようである。
 「見ているとき、家族と一緒に歌ったり踊ったりすること」については、2歳児が最も多く91.4%、6歳児では72.1%である。
 テレビ・ビデオ・DVDを「見ているとき、内容について、子ども自身がお話すること」では、3～6歳児でいずれも9割を超えている。一方で、3歳児以上では「見ているとき、内容について、子ども自身がお話すること」

が「ない」（「あまりない」＋「ぜんぜんない」）子どもが4～5%はいるようである。
 また、「見終わった後、家族と内容について、話をする事」についても、3～6歳児で8割を超えており、テレビ・ビデオ・DVDを見終わったあとも、親子コミュニケーションの話題としてテレビ・ビデオ・DVDの内容を活用しているようである。

■図1-4-9 テレビ・ビデオ・DVD視聴の様子（全体 子どもの年齢別 05年）〔続き〕



注1) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ保護者の回答を含む。
 注2) 「テレビ」「ビデオ」「DVD」をいずれか1つでも「ほとんど毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」「ごくたまに」見ている人のみ分析。
 注3) 年齢によって回答しづらい内容であるため、「無答不明」が多い年齢がある。

●ビデオ・DVDの平均視聴時間

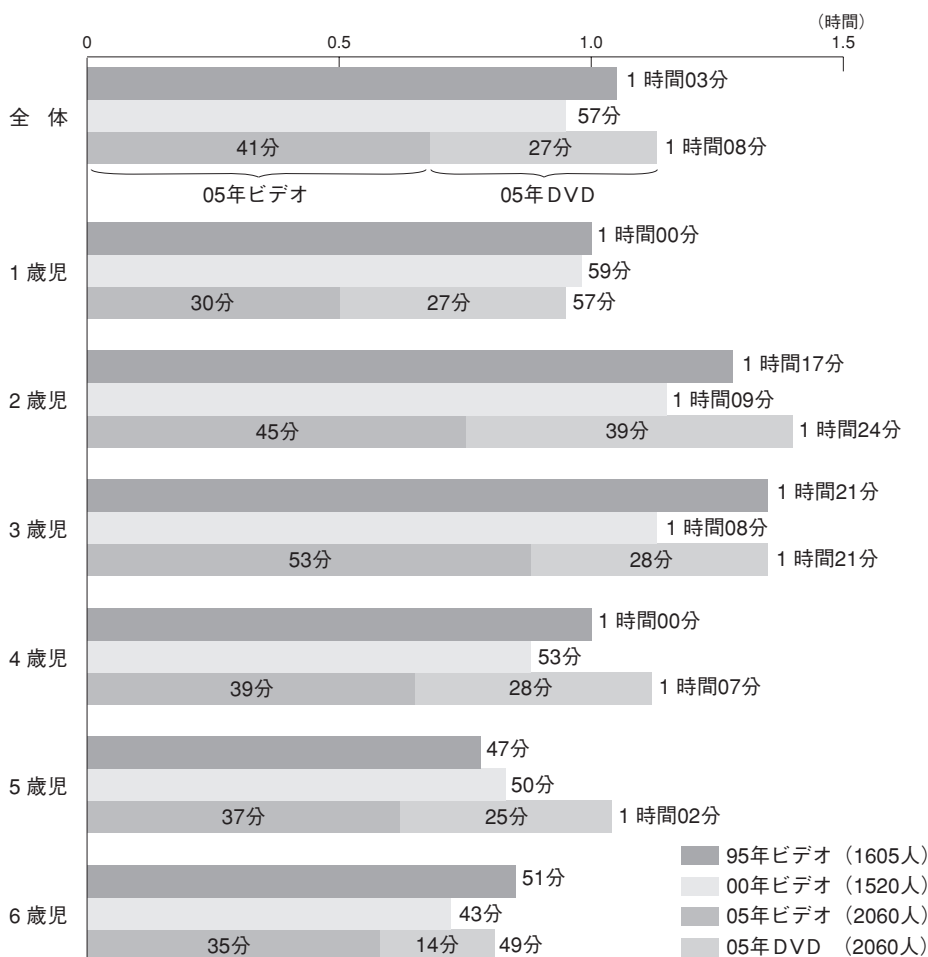
次にビデオ視聴についてみてみよう。05年では、新たにDVDの視聴時間を加えて調査を行っている。

ビデオとDVDの平均視聴時間をみたのが図1-4-10である。ビデオ視聴時間を過去数値と比較すると、10年間で22分の減少である。しかし、05年にDVD視聴を加えると、5

分の増加となる。

年齢別に05年の数値をみると、ビデオ視聴が最も長いのは3歳児（53分）、最も短いのは1歳児（30分）で、DVD視聴の場合、最も長いのは2歳児（39分）、短いのは6歳児（14分）である。

■図1-4-10 ビデオ・DVDの平均視聴時間（全体 子どもの年齢別 10年比較）



注)「ビデオ」「DVD」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに」「ぜんぜんさわらない・使わない」「使わせない・見せない」「家にない」と回答した場合は、「0時間」として平均視聴時間を算出した。また、無答不明の人は分析から除外している。

●ビデオ・DVDの視聴時間帯

1日のなかで、いつビデオ・DVDを見ているかを調べたものが図1-4-11である。テレビと同様に、午前と夕方～夜に2つの山がある。

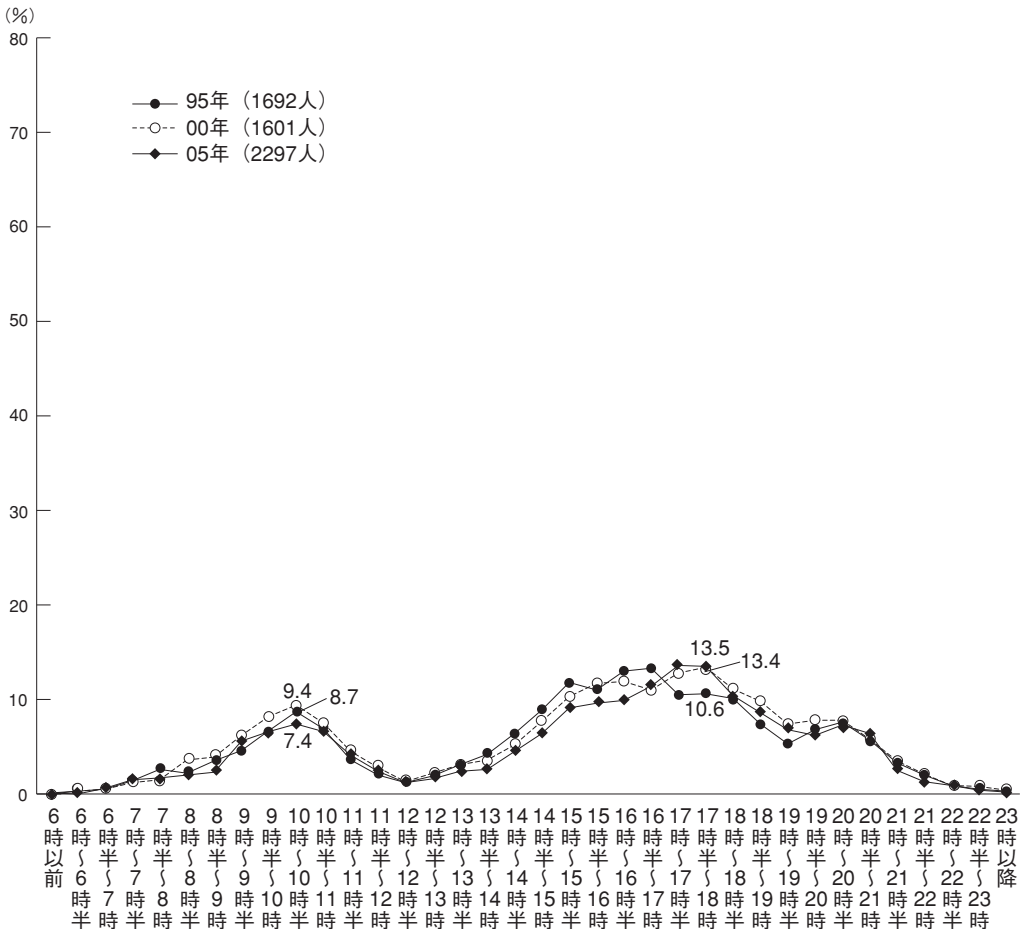
過去数値と比較すると、午前のピーク時間帯は10年間変わらないが（「10時～10時半」）、05年の視聴率は、00年より低くなっている（2.0ポイント減少）。夕方～夜にかけては、00年に比べて夕方の早い時間帯の山（「15時～17時半」）がなくなっているが、ピークの時間帯（「17時半～18時」）に変化はなく、視聴率もほぼ変わりはない（95年10.6%、00年13.4%、05年13.5%）。

●誰と一緒にビデオを見るか

図1-4-12は、ビデオを誰と一緒に見ているかを年齢別にみたものである。全体としてはテレビと同じ傾向で、10年前と比べると「母親」と一緒に見る割合が増加し、「きょうだい」で一緒に見る割合が減少している。ビデオは、「お子様1人で」見る割合も下がっている。テレビと同様に、それぞれ1～2歳児、3～4歳児、5～6歳児で似た傾向である。

2歳児では、「母親」と一緒に見る割合が大幅に増加し（95年28.5%、00年39.8%、05年65.6%で37.1ポイントの増加）、「きょうだい」と一緒に見る割合は減少した（95年37.0%、

■図1-4-11 ビデオ・DVDの視聴時間帯（10年比較）



注) 複数回答、36項目の中から選択。

00年30.4%、05年14.7%で22.3ポイントの減少)。「お子様1人で」見る割合も減少している(95年30.8%、00年27.0%、05年13.7%で17.1ポイント減少)。

4歳児も、2歳児と傾向は同じである。「お子様1人で」見る割合が下がり(95年29.5%、00年28.7%、05年13.8%で15.7ポイントの減少)、「母親」と一緒に見る割合が増加した(95年17.8%、00年14.6%、05年39.9%)。1～2歳児と比べて、3～4歳児は「母親」と一緒に見る割合が低い傾向である。

5～6歳児の場合も10年間の傾向は1～4歳児までと同じである。「きょうだい」と一緒に見る割合が減少し、「母親」と一緒に見る割合は増加した。「お子様1人で」見る割合は減少している。1～4歳児と比べて、5～6

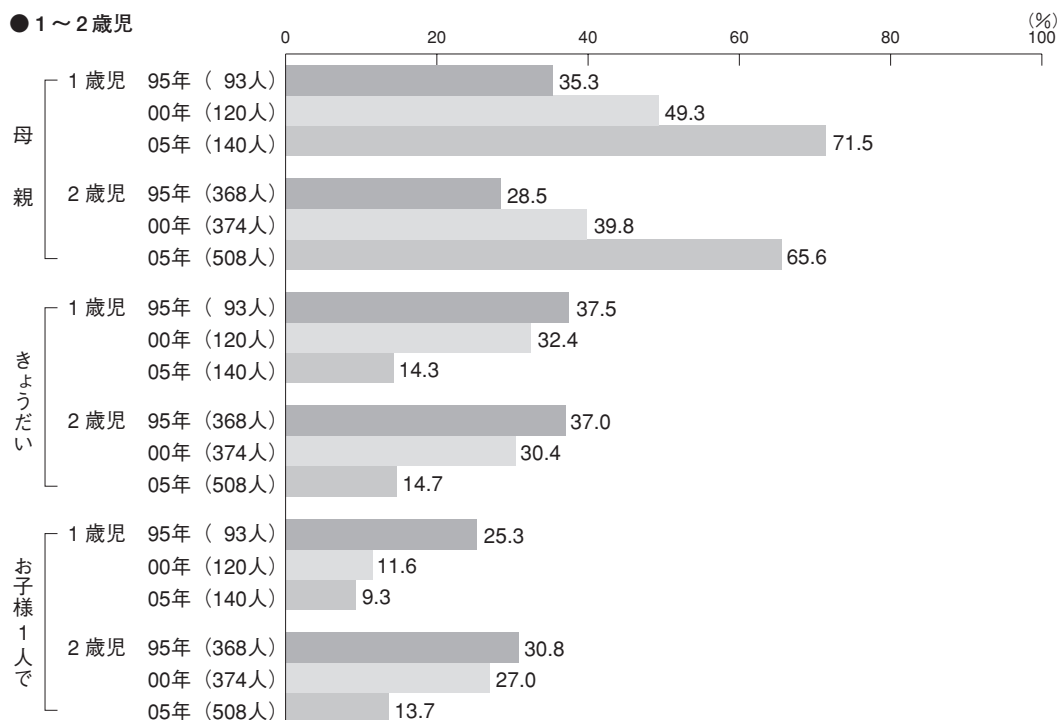
歳児は「きょうだい」と一緒に見る割合が高い傾向である。

「母親」「きょうだい」以外で、おもに一緒にビデオを見る人は、ほとんどみられなかった。子どもの遊びについても「母親」と一緒に見る割合が増加していることから(1章6節にて分析)、映像メディア視聴に限らず、子どもの活動全般において、母親のかかわりが多くなっている傾向がうかがわれる。

● テレビとビデオの違い

3歳児をとりあげ、テレビとビデオで一緒に見る人の違いをみた(図1-4-13)。10年間の比較では、テレビ・ビデオともに「母親」が増加し、「きょうだい」「お子様1人で」が

■図1-4-12 ビデオを誰と見るか(子どもの年齢別 10年比較)

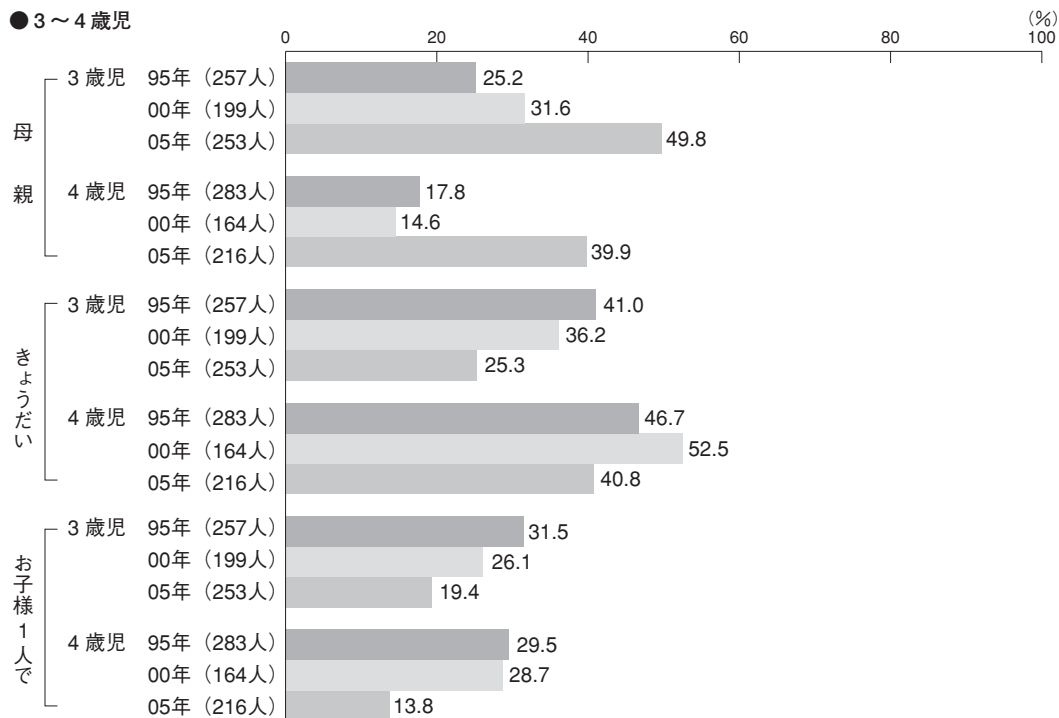


注1)「家がない(使わない・使わせないを含む)」および無答不明を除いて算出した。

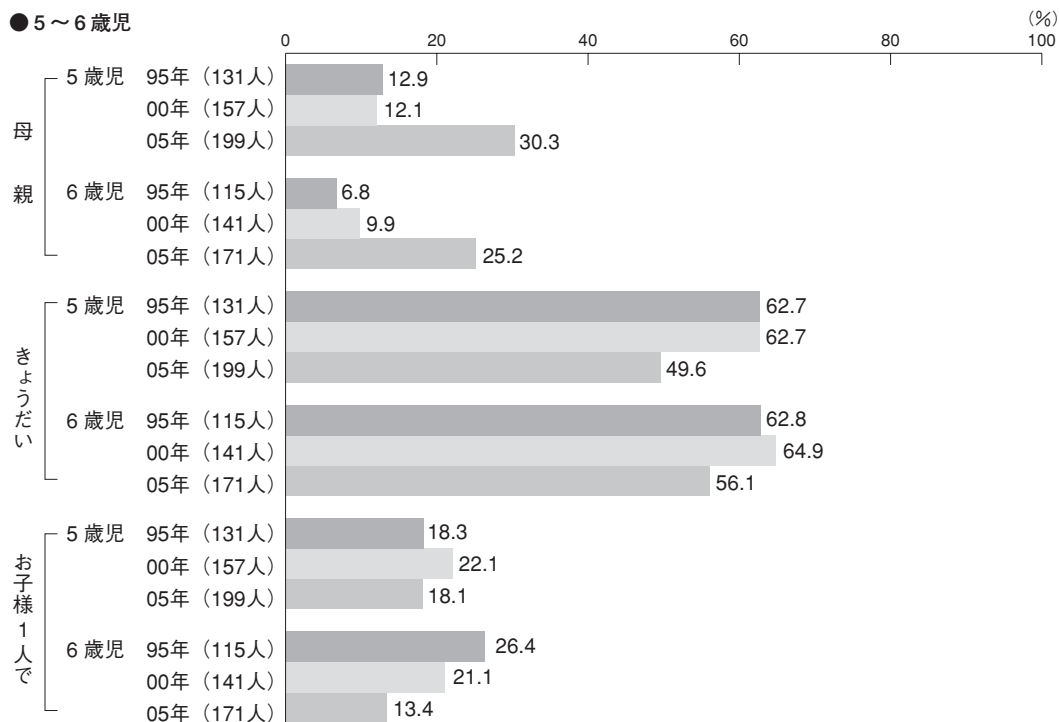
注2)「母親」「父親」「祖母」「祖父」「きょうだい」「友だち」「お子様1人で」「その他」「家がない(使わない・使わせないを含む)」から1つ選択で、「母親」「きょうだい」「お子様1人で」を選択した%。

■図1-4-12 ビデオを誰と見るか（子どもの年齢別 10年比較）〔続き〕

●3～4歳児



●5～6歳児



注1)「家がない(使わない・使わせないを含む)」および無答不明を除いて算出した。

注2)「母親」「父親」「祖母」「祖父」「きょうだい」「友だち」「お子様1人で」「その他」「家がない(使わない・使わせないを含む)」から1つ選択で、「母親」「きょうだい」「お子様1人で」を選択した%。

減少している。05年の数値を比較すると、「きょうだい」と一緒に見る割合はほぼ同じ（テレビ24.2%、ビデオ25.3%）である。「母親」と一緒に見る割合はテレビのほうが多く（テレビ63.1%、ビデオ49.8%）、逆に「お子様1人で」見る割合はビデオのほうが多い（テレビ9.0%、ビデオ19.4%）。どちらも「母親」「きょうだい」「お子様1人で」見る順位は同じであるが、テレビのほうがより「母親」と一緒に見る傾向が強くなり、ビデオのほうが「お子様1人で」見る人が多いことがわかる。

● テレビ・ビデオ・DVD全体での 視聴時間帯

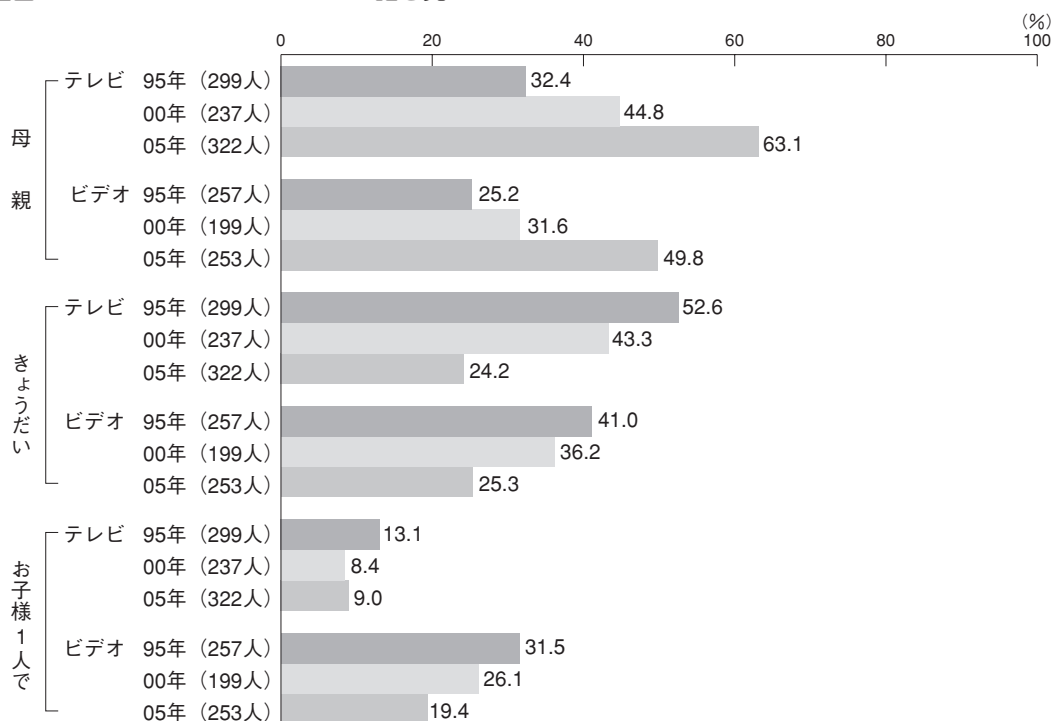
幼児はどのような時間帯に映像メディアを見ているのだろうか。テレビ・ビデオ・DVD

を合わせて、幼児の年齢と就園状況により4つに分けて示したのが図1-4-14~15である。

どのグループも、テレビの視聴の場合は、午前と夕方～夜の2つの山に分かれている。午前の山は「7時半～9時」の間、夜の山は未就園児を除いて「19時～19時半」に集中している。一方、ビデオ・DVDの場合は、それぞれの生活スタイルに合わせ、山の形が異なっているのがよくわかる。

未就園児（0～2歳クラス児）の場合、午前のテレビ視聴の山は「8時半～9時」で、他のグループに比べてやや時間帯が遅く、視聴の山が他と比べて高い（65.8%）。午前のテレビ視聴の山が下がり始める頃（「10時～10時半」）に、ビデオ・DVDの山が18.0%まで上がる。テレビの子ども向け番組が終了した後、引き続きビデオ・DVDを見ている子

■図1-4-13 テレビ・ビデオを誰と見るか（3歳児 10年比較）



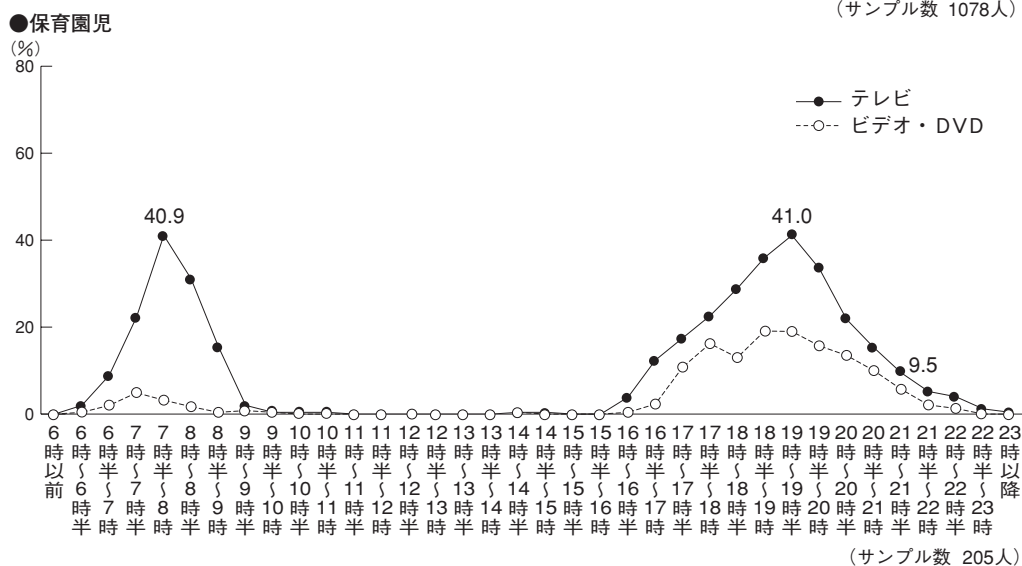
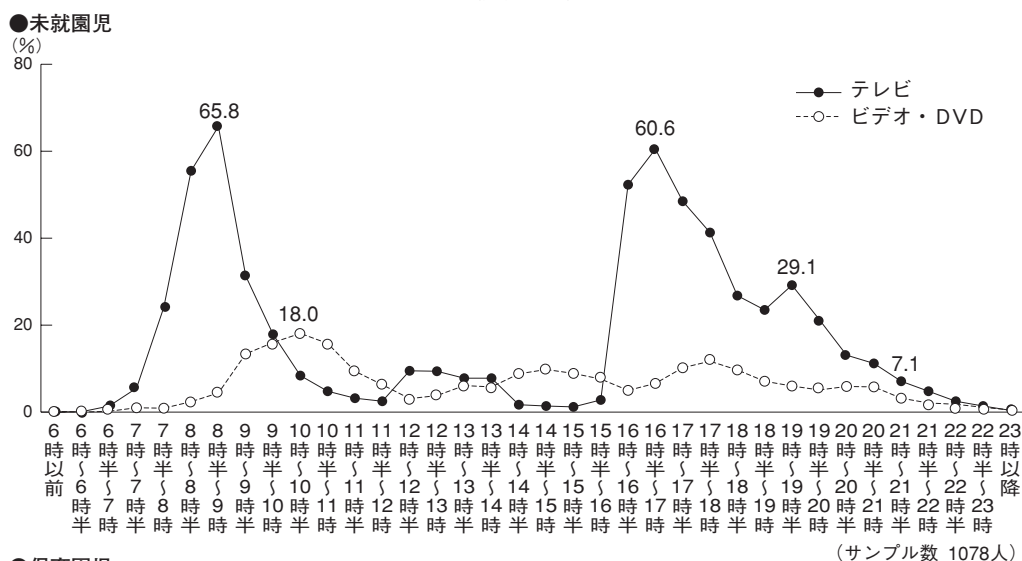
注1)「家がない（使わない・使わせないを含む）」および無答不明を除いて算出した。

注2)「母親」「父親」「祖母」「祖父」「きょうだい」「友だち」「お子様1人で」「その他」「家がない（使わない・使わせないを含む）」から1つ選択で、「母親」「きょうだい」「お子様1人で」を選択した%。

どもの姿がうかがわれる。昼間から午後の時間帯（「12時～16時」くらいまで）は、視聴率は低いが（10%以下）、テレビとビデオ・DVDの山が交互に重なっている。夕方のテレビ視聴は他のグループより早く、16時から始まり、ピークは「16時半～17時」になる（60.6%）。「19時～19時半」にもう一度小さな山ができる（29.1%）。テレビ視聴率が10%を下回るのは、21時以降になってからである。

保育園児（0～2歳クラス児、3～5歳クラス児）の場合は、午前の山は登園前の時間（「7時半～8時」）に集中している。夕方は、16時半頃から徐々に増加する。保育園降園後に家庭でテレビ視聴をする様子うかがわれる。夜のテレビ視聴ピークでの比率は、年齢により異なる。「19時～19時半」で、0～2歳クラス児は41.0%、3～5歳クラス児は71.5%となる。夜のテレビ視聴率が最も高いのは、保育園の3～5歳クラス児であり、「21

■図1-4-14 テレビ・ビデオ・DVDの視聴時間帯（0～2歳クラス児 就園状況別 05年）



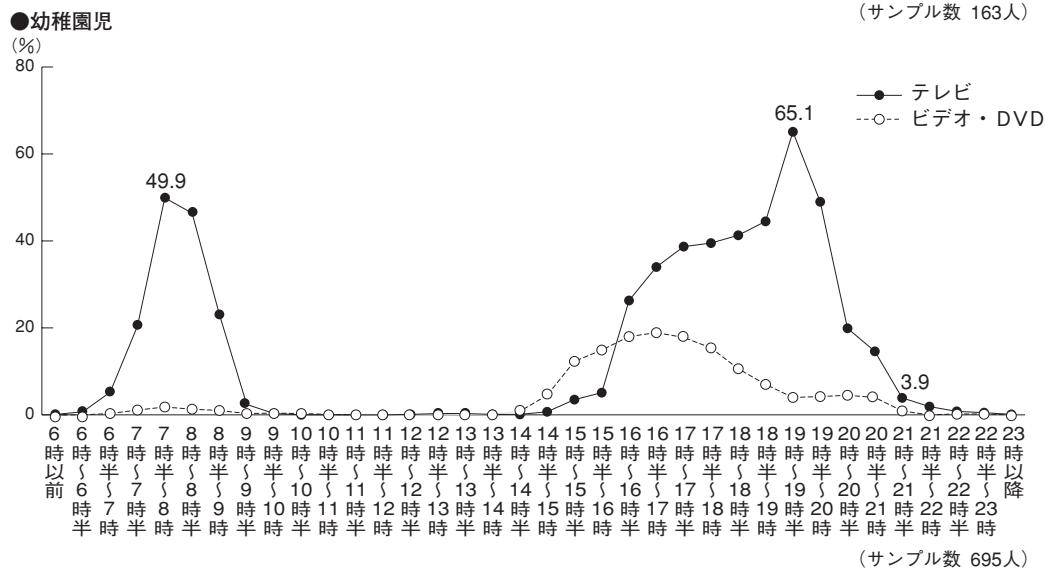
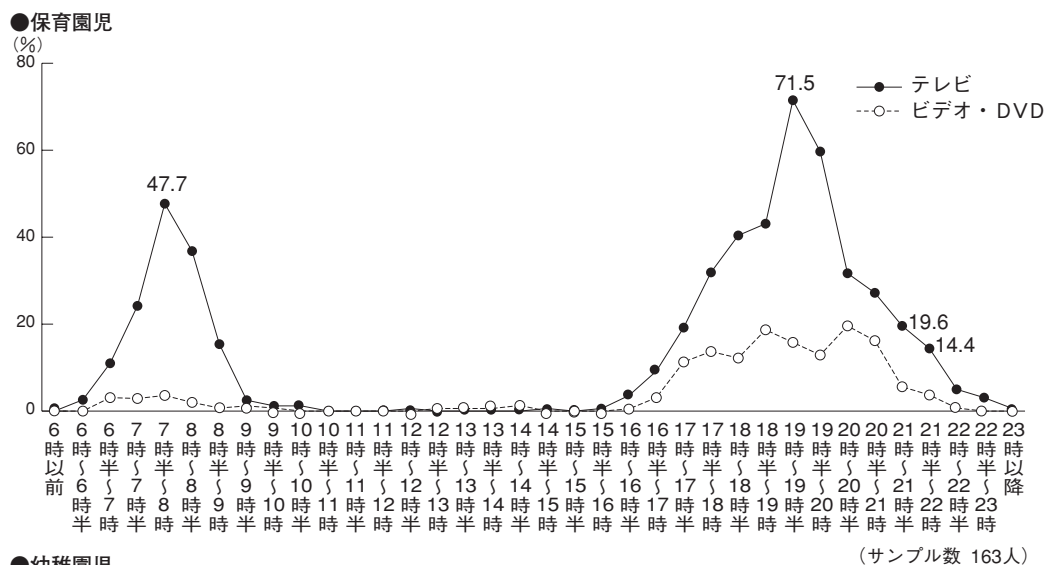
注) 複数回答、36項目の中から選択。

時半～22時」の時間帯で14.4%がテレビを視聴しており、夜遅くまで見ているのも特徴である。保育園児はビデオ・DVD視聴も多い。「17時～21時」頃にかけて10～20%が視聴している。

幼稚園児（3～5歳クラス児）の場合は、午前の山は保育園児と変わらない。夕方の視聴は15時頃から始まり最も早い。降園後の「15時～18時」頃までは10～20%程度がビデオ・DVDを見ており、16時以降にはテレビ

も加わる。夜のテレビ視聴のピーク時間帯は「19時～19時半」で（65.1%）、テレビ視聴の終了時刻は他と比べて最も早く、「21時～21時半」には3.9%になっている。同時帯の他グループでは、未就園児7.1%、保育園児（0～2歳クラス児）9.5%、保育園児（3～5歳クラス児）19.6%の子どもがテレビを視聴しており、幼稚園児の視聴終了時刻が最も早くなっている。

■図1-4-15 テレビ・ビデオ・DVDの視聴時間帯（3～5歳クラス児 就園状況別 05年）



注) 複数回答、36項目の中から選択。